

12. 再受検申込者の記入例

(1) A票等の作成方法(新規受検申込者記入例はP16~17)

再受検申込者は、**再受検**欄内を必ず記入してください。なお、再受検申込者は、B票の作成は必要ありません。

1. 記入は受検申込者本人が行ってください。
2. 記入は黒のボールペンを使用し、字を崩さず、丁寧に書いてください。消せるボールペン、鉛筆などは、記載内容が消滅することがありますので、絶対に使用しないでください。
3. **再受検**欄は記入しないでください。
4. **A**票の訂正は、修正液等できれいに修正し、訂正事項を記入してください。
5. 申請書は切り離さないでください。
6. 申請書の内容については、改めて確認させていただく場合があります。

A票等記入例

振替払込受付証明書(お客さま用)貼付欄

振替払込受付証明書(お客さま用) 31681
 建設業振興基金 6600
 電気太郎
 東京都中央区〇〇町1-2-34
 〇〇ハイツ205

本籍コード

01 北海道	18 福井県	35 山口県
02 青森県	19 山梨県	36 徳島県
03 岩手県	20 長野県	37 香川県
04 宮城県	21 岐阜県	38 愛媛県
05 秋田県	22 静岡県	39 高知県
06 山形県	23 愛知県	40 福岡県
07 福島県	24 三重県	41 佐賀県
08 茨城県	25 滋賀県	42 長崎県
09 栃木県	26 京都府	43 熊本県
10 群馬県	27 大阪府	44 大分県
11 埼玉県	28 兵庫県	45 宮崎県
12 千葉県	29 奈良県	46 鹿児島県
13 東京都	30 和歌山県	47 沖縄県
14 神奈川県	31 鳥取県	48 韓国
15 新潟県	32 島根県	49 朝鮮
16 富山県	33 岡山県	50 中国
17 石川県	34 広島県	52 その他

A票 第二次検定のみ申込専用 令和5年度2級電気工事施工管理技術検定受検申請書

標記の検定について、関係書類を添付して受検申請を行います。
 令和5年7月11日

ご自分が新規受検なのか、再受検なのかについて、受検の手引や上記※印の項目をご確認のうえ正しくお申込みください。

新規受検 再受検

平成15年度以降に2級電気工事施工管理技術検定の同じ区分を受検し、今回再受検の方は下欄を記入(受検年度・受検番号がわからない場合は下記「不明」欄を○で囲ってください)

過去受検年度 **H** **R** 3 年度 過去受検番号 30000000 **不明**

過去の受検票等を裏面の貼付欄に必ず貼付してください。

履歴書

氏名 フリガナ 電気太郎
 性別 男 ① 生年 昭和 11 年 12 月 04 日
 本籍 東京 都 道 府 県 本籍コード 13

1 現在の居住地
 〒0000-0000 東京都 〇〇区 〇〇町1-2-34
 〇〇ハイツ205
 TEL[自宅] 03(0000)0000 TEL[携帯] 090(0000)0000

2 現在の勤務先
 フリガナ マルマルデンセツコウギョウカブシキガイシャ フリガナ ホンテン コウジブ セツビカ
 勤務先名称 〇〇電設工業株式会社 部署名 本店 工事部 設備課
 〒0000-0000 東京都 〇〇区 〇〇町5-6
 第1ビル3F
 TEL 03(0000)0001 FAX 03(0000)0002

勤務先種別コード
 01. 国の機関 04. 電力会社 07. 一般建設業(電気) 10. 建設コンサルタント・設計事務所
 02. 地方公共団体 05. 鉄道会社 08. 特定建設業(その他) 11. その他
 03. 公団・公社・事業団等 06. 特定建設業(電気) 09. 一般建設業(その他)

受検票等送付先
 1 現住所 2 勤務先 3 その他
 左欄1-2以外の住所に受検票等を送付希望の方は、この欄に送付先を記入。現場の場合は事務所名等も記入。(日本国内に限る)

学歴
 最終学歴及びその1つ前の学歴

資格

検定区分資格	合格年月日	合格番号等
令和2年度までの2級電気工事施工管理技術検定学科試験(学科試験のみ受検申込による学科合格者)	(S)(H)(R) 年 月 日	
令和3年度以降の2級電気工事施工管理技術検定第一次検定(2級電気工事施工管理技術士補)	(R) 年 月 日	
受検資格に関する資格	合格年月日	免状番号
電気工事士 第 種	(S)(H)(R) 年 月 日	
電気主任技術者 第 種	(S)(H)(R) 年 月 日	

写真
 令和5年7月11日撮影 (満23才)

整理No. _____

住所・氏名を記入の上、次のとおりお支払いください。

【郵便局の窓口で支払うとき】
 同封の振替払込用紙で必ず個人別に払込み、振替払込受付証明書を貼付欄に全面のりづけしてください。必ず郵便局の日附印が押印されているか確認してください。

【郵便局のATMから支払うとき】
 同封の振替払込用紙で必ず個人別に払込み、ご利用明細票の原本を貼付欄に全面のりづけしてください。(控えとして、必ずコピーをとり保管してください。)
 ※コピーのご提出は認められません。

過去受検年度・受検番号は、貼付する受検票等のものを記入してください。

受検希望地は、13都市の中から希望する番号を○で囲んでください。

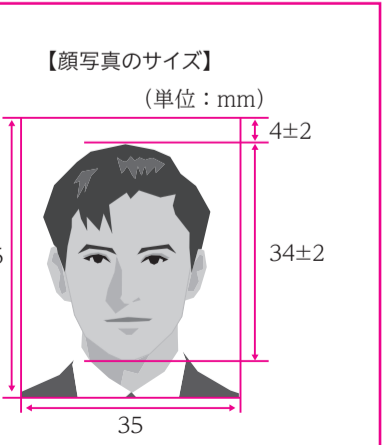
氏名・生年月日は、貼付する受検票等に記載されているとおりに記入してください。前回受検時以降に氏名変更した方は新氏名を記入し、戸籍抄本を添付してください。

本籍を記入のうえ、上欄に記載されている本籍コードの記入もしてください。

現住所は、住民票の記載と異なっても構いません。郵便番号、アパート名、団地名、棟番号、同居先名まで詳しく正確に記入し、必ず連絡先(携帯番号等)を記入してください。

勤務先はビル名・部署等まで詳しく記入してください。勤務先TELはご連絡させていただく場合があります。勤務先種別コードは、現在の勤務先の業務内容で主に該当するものを選んで記入してください。

受検票等送付先として番号を記入した送付先へ、受検票・合否通知等を郵送しますので、郵便物を確実に受け取れる場所を指定してください。送付先を短期賃貸マンション等にされる場合は、必ず郵便局に転送届(転居届)の手続きをしてください。



写真はスキャニングするため、写真の表面にセロテープ等を貼り付けしないでください。指紋やゴミも付かないよう注意してください。

- 証明写真について**
- サイズは縦4.5cm×横3.5cmのパスポート用証明写真を貼付してください(サイズ厳守)。
 - 提出する写真は、必ず写真店等でカラーの証明写真を撮影し提出してください。(自前のデジタルカメラ等で撮影しプリンタで印刷したスナップ写真は一切不可です。)
 - 受検申込者本人のみを、最近6ヶ月以内に撮影したものを。
 ※年齢は、令和5年7月末日現在で記入。
 - 受検票及び技術検定合格証明書に印刷されます。

(2) 受検票等貼付欄について

平成15年度以降の2級本検定の受検票または不合格通知書をB票上部裏面の貼付欄に全面的りづけしてください。

裏面

過去の受検票等がある場合

再受検申込の方は、過去の受検票等を貼付してください。

●平成15年度以降の2級電気工事施工管理技術検定[実地試験のみ]または[第二次検定のみの]の「受検票」または「不合格通知」の原本(コピー不可)を、下記の貼付欄に(氏名・受検番号・年度が分かるように)全面的りづけしてください。

学科のみまたは第一次検定のみの受検票または不合格通知を貼付しても、再受検申込の扱いにはなりません。

受検票等貼付欄
(再受検申込者専用)

※1 過去受検時の受検票等と現在の氏名が異なる方は、戸籍抄本(コピー不可)を同封してください。

※2 再受検申込とは、平成15年度以降に本検定の[実地試験のみ]または[第二次検定のみの]に新規申込を行った方が、次年度以降に同一の検定種目を再度申込する際、添付書類【実務経験証明書、住民票、卒業証明書、資格証明書(写)等】を省略できる申込方法です。(受検手数料の払込受付証明書と顔写真は必要です。)

二次のみ 令和3年度
2級電気工事施工管理技術検定試験
受検票

受験者氏名	電気太郎		
生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日		
試験地	〇〇	受験番号	〇〇〇〇〇〇
試験会場(詳細は、右側の会場案内のとおり。)			
試験日時			
試験日：令和00年00月 日(日)			
試験時間割	問題配付と注意(実地)	：	～ ：
	試験時間(実地)	：	～00:00

【試験中は、このページを切り取り机の上に置いてください】

受検票等は、氏名・受検番号・年度がわかるように貼り付けてください。

平成15年度以降の受検票等を紛失した場合は、裏面の「受検証明書の発行を希望します」に○印を付し、300円分の切手をクリップでとめてください。

裏面

過去の受検票等がない場合

受検票等を紛失した場合は、下記の項目に○印を付していただき、受検証明書発行手数料として切手300円分を受検申請書にクリップで留めてください。

受検証明書の発行を
希望します

■受検証明書の発行を希望した方は、当方にて受検証明書を作成し左欄に貼付して申込処理を進めますのでご了承ください。

裏面に平成15年度以降の受検票等を貼付できる場合は、記入不要です。